



環境広場さっぽろブースで体験者に対応

(特非) 北海道省エネまちづくり協会

低炭素地域づくりを目指して、 恵庭市から始める 持続可能なまちづくり活動

入門助成

1年目

実践

地球温暖化対策等の
セミナー参加者数

90人

環境・エネルギー展
体験者数

1,230人

活動の全体目標に
対する達成度

90%

課題

北海道民のCO₂排出量削減に対する意識・行動は、相当低い。「省エネ」を知らないという人はいないが、身近な省エネの大切さ、必要性、実践の大切さを普及・啓発する。

目標

小・中学校の省エネ診断の実施により、児童・生徒たちが学んでいる場所の環境・省エネ改善、セミナー開催による省エネ意識向上、新エネ体験教室による子どもたちがエネルギーの大切さを感じること。

活動内容

●小・中学校4校の省エネ診断の実施～電力使用状況の1週間計測、校舎内の温・湿度連続測定、CO₂濃度測定及び暖房機のエネルギー使用状況を把握して改善対策を提案した。●気象予報士を講師とした地球温暖化とその影響についての講演会及びカーボンオフセットに関する講演会を開催した。●恵庭市環境・エネルギー展ほか環境広場さっぽろ等に出展・参加して、新エネルギーについての体験学習・体験教室を開催した。



省エネ診断の電力計測器
取り付け作業

達成できなかったこと

小・中学校の省エネ診断について、学校の施設管理体制が不十分なため、改善提案した事項が現地で十分に実施されない状況にあること。

今後の展望

参加3イベント実行者側から高い評価を受け、子ども達の嬉々とした反応を見て、新しい企画で今後も対応する。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・教育委員会との連携で、計画通り4校実施した。報告書は担当者が理解可能な内容でまとめたので今後の活用でCO₂排出量削減10%が期待できる。
- ・アンケート結果から理解度及び身近な省エネが期待できる。

工夫

省エネ診断は4校とも建築経過年数が長く、施設管理者から不具合な状態を十分に聞き取り対策に生かした。